資料１－１

令和３年２月定例会（付託）
文教厚生委員会資料
教育委員会

「とくしまの学校における働き方改革プラン（第２期）」（案）について

１ 概 要

子供たちの成長は、教職員１人ひとりの「情熱と誇り」に支えられる中、教職員がこうした想いを持ち続け授業や生活指導に集中できる環境を整えるため、平成30年度に現行プランを策定し、市町村教育委員会、学校と一体となって教職員の働き方改革に取り組んできた。

このような中、関連法の改正や新型コロナの感染拡大、デジタル社会の本格到来、約40年ぶりの「学級編成の標準」の計画的引き下げなど新しい時代の流れを捉えるとともに、第１期プランの成果と課題を踏まえ、学校の働き方改革を更に推進するため、プランの改定を行い、取組内容を進化・拡充させる。

２ 計画期間

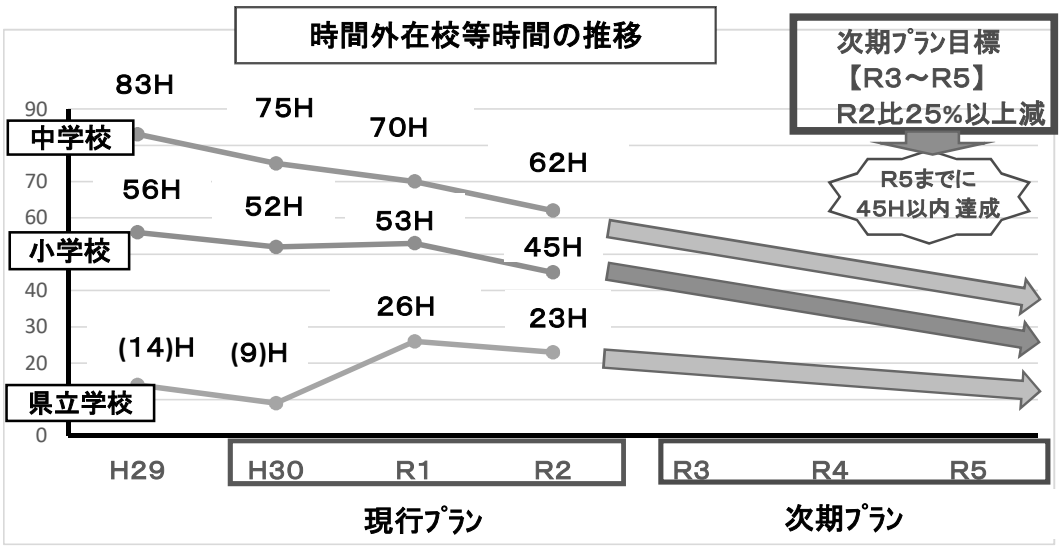
令和3年度から令和5年度 （現行プラン：平成30年度から令和2年度）

※現行プランの主な成果
①県立学校への出退勤管理システムの導入
②管理職への働き方に関する意識改革の推進とマネジメント研修の充実
③教員研修の抜本的見直しによる質的改善と、サテライト会場研修の実施
④外部人材の活用推進
（ｽｸｰﾙ･ｻﾎﾟｰﾄ･ｽﾀｯﾌ、部活動指導員、学びサポーター等の新設及び配置促進）
⑤勤務時間外における電話対応時間帯の設定 など

３ 次期プランの主な内容

（1）目 標

令和5年度までに、1か月当たりの時間外在校等時間(平均)を
令和2年度比「25%以上」削減 （各校種において）
※現行プラン目標は、平成29年度比「25%」削減



（2）次期プランにおける共通的留意事項について

①法改正を踏まえた改革の推進
給特法上の指針（時間外在校等時間の上限：月45時間・年360時間）等を踏まえた取組の実施により、プランを推進する。

②GIGAスクール構想の実装（デジタル化）を通じた改革の推進
児童生徒1人1台端末、Web会議システム、電子黒板、デジタル教材など学校教育を支える基盤的なツールとしてICTを積極的に活用し、業務の効率化を推進する。

③保護者・地域への理解促進
「ふれあいひろば」等の広報紙や「働き方改革ホームページ」、「教育ふれあい懇談会」等において取組を発信することにより、保護者や地域の方々への理解を促進する。

（3）体系の変更点について

①全ての取組を強力に推進するため、新たに共通的留意事項を設ける。

②目標達成のために、具体的手法に工夫を凝らすとともに、取組の柱を「4項目」に再編する。

【現行プラン】

■5つの取組の柱
①勤務時間管理と意識改革
②業務改善の推進
③外部人材等の活用
④部活動の適正化
⑤保護者・地域への理解促進

【次期プラン】

■共通的留意事項
①法改正を踏まえた改革の推進
②徳島県GIGAスクール構想の実装（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化）を通じた改革の推進
③保護者・地域への理解促進

■4つの取組の柱
①タイムマネジメントの徹底
②業務改善の更なる推進
③外部人材の積極的活用
④部活動の適正化

（4）次期プランの体系と主な取組

《共通的留意事項》

①法改正を踏まえた改革の推進

②徳島県GIGAスクール構想の実装（ﾃﾞｼﾞﾀﾙ化）を通じた改革の推進

③保護者・地域への理解促進

《主な取組》

①タイムマネジメントの徹底
- ○ 優れた取組事例の周知・広報による意識改革促進
- ○ 管理職対象の働き方改革に係る研修の充実
- 新 県立学校に加え公立小中学校でも出退勤管理システムを活用し徹底したﾀｲﾑﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄを推進
- 新 休日のまとめ取りのための1年単位の変形労働時間制の周知
- 新 年次有給休暇の取得促進（基準日の変更）

②　業務改善の更なる推進
- ○ 更なる研修の進化（Web会議の積極的活用等）
- 新 徳島県GIGAスクール構想の実装による授業形態や手法の進化及び事務処理の効率化
- 新 県下統一した学校業務支援システムによる業務改善の推進
- 新 各種行政文書等のデジタル化を含む手続の簡素化
- 新 トップマネジメント及びボトムアップ両面からの業務改善の徹底

③外部人材の積極的活用
- ○ スクール･サポート･スタッフ、部活動指導員、学びサポーター等の配置促進
- ○ ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ・ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ・ｽｸｰﾙﾛｲﾔｰによる教育相談体制の充実
- 新 GIGAスクールサポーターの積極的活用
- 新 図書館サポーターの養成及び配置促進
- 新 コミュニティ・スクール、地域学校協働本部の導入促進

④部活動の適正化
- ○ 「運動部活動に関する方針」「文化部活動に関する方針」を踏まえた活動時間や休養日の取組徹底
- ○ 各連盟・各競技団体・芸術文化団体等との連携・協力
- ○ 部活動指導員の配置促進（再掲）
- 新 国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」への対応と取組
- 新 合理的で効率的・効果的な活動のための科学的トレーニングの導入促進